

創刊にあたって

食品工場長を支援

食品産業の生産拠点である“食品工場”は、21世紀へ向かって、あらゆる面からの見直しと再構築が必要となっております。より安全で、より高品質の製品を低コストで製造し続けるために、企業は全知全能を傾けて取り組んでおりますが、そのためには日進月歩の技術を生かし、最高の設備で生産性の高い運営を行っていく必要があります。

そしてそのカナメは生産現場で指揮をとる食品工場長にかかっております。月刊誌「食品工場長」は、いま食品工場の最高責任者に求められているあらゆる技能知識と必要な管理能力を学ぶために、具体的にタイムリーな情報を提供して食品工場長をサポートしてまいります。

各社における工場長のポジション、待遇は責任の重い割合に必ずしも十分ではないように思われます。工場長の地位の向上は実力なみの評価を獲得することから始まります。それが企業全体の発展のためにもつ意味は非常に大きなものがあると考えます。

われわれは食品工場長の知的武装、情報武装に役立つ月刊誌として、あらゆるデータと実践的な手法を提供してまいります。

日本食糧新聞社

代表取締役会長

伊奈一郎

1997年5月